

都市再生整備計画 事後評価シート
津川・鹿瀬地区

令和4年3月

新潟県阿賀町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	阿賀町		地区名	津川・鹿瀬地区			面積	45ha		
交付期間	平成26年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和1年度		交付対象事業費	331.5百万円	国費率	0.400				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(町道・鹿瀬堤防線、1.490m)、公園(阿賀野川河川公園、麒麟山公園(遊歩道改修))、地域生活基盤施設(情報案内板設置:国道49号沿道(楊川・津川間))										
		提案事業	地域創造支援事業(地域エネルギー活用(角神地区)、緑の油田・雪椿の里づくり(国道49号・阿賀野川沿線)、案内板設置(麒麟山公園))、まちづくり活動推進事業(川まちづくりの実践活動(阿賀野川河川公園))										
	当初計画から削除した事業	基幹事業											
		提案事業	地域創造支援事業(地域エネルギー活用(角神地区))	削除/追加の理由			計画では、雪冷熱等の自然エネルギーの活用を目的に地域エネルギー活用事業(提案事業)を予定していた。その後、提案事業実施箇所に併設している温泉施設などを含めて事業の再検討を行った結果、本計画最終年度(平成30年度)までに提案事業が完了しない見込みであることが明らかになったことから、都市再生整備計画では実施しないこととした。						
	削減/追加による目標、指標、数値目標への影響	当該事業が、都市再生整備計画では実施しないことになったため、指標とすることを取りやめた。											
新たに追加した事業	基幹事業												
	提案事業												
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし								
	変更	平成26年度～令和2年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	川を活用したレクリエーション交流人口	人/年	5,800	H24	7300 (25%増)	H30 (暫定)	718	×	あり なし	○	阿賀野川河川公園の整備により阿賀野川レガッタ会場の環境が向上しレガッタ参加者の増加につながった。しかし目標達成度については指標構成要素の大部分を占める奥阿賀遊覧船が事業期間中に運行中止になった影響を受け、目標は未達成となった。	令和3年度
	指標2	地区内の観光入込客数	人/年	179,835	H24	180000 (現状維持)	H30 (暫定)	129,043	×	あり なし	○	地区内の観光入込客数については、公園や道路整備により地区内観光の周遊性等が向上したものの、事業期間中に発生した指標構成要素に関する種々のマイナス要因(観光施設の閉鎖等)の影響を大きく受け、目標は未達成となった。	令和3年度
指標3													
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	津川艇庫利用の合宿参加者数	人/年	297	H27	297(従前値)以上	H30 (確定)	762	○	あり なし		公園(阿賀野川河川公園)整備事業の一環として町艇庫増改築されたことで、艇庫を利用した合宿及び参加者の増加につながった。	令和3年度
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	・町道・鹿瀬堤防線の整備によって地区内の行き止まり道路の大多数は解消され、遊歩道へのアクセスが容易になり、地域住民の遊歩道利用が活性化した。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

津川・鹿瀬地区(新潟県阿賀町) 都市再生整備計画事業の成果概要

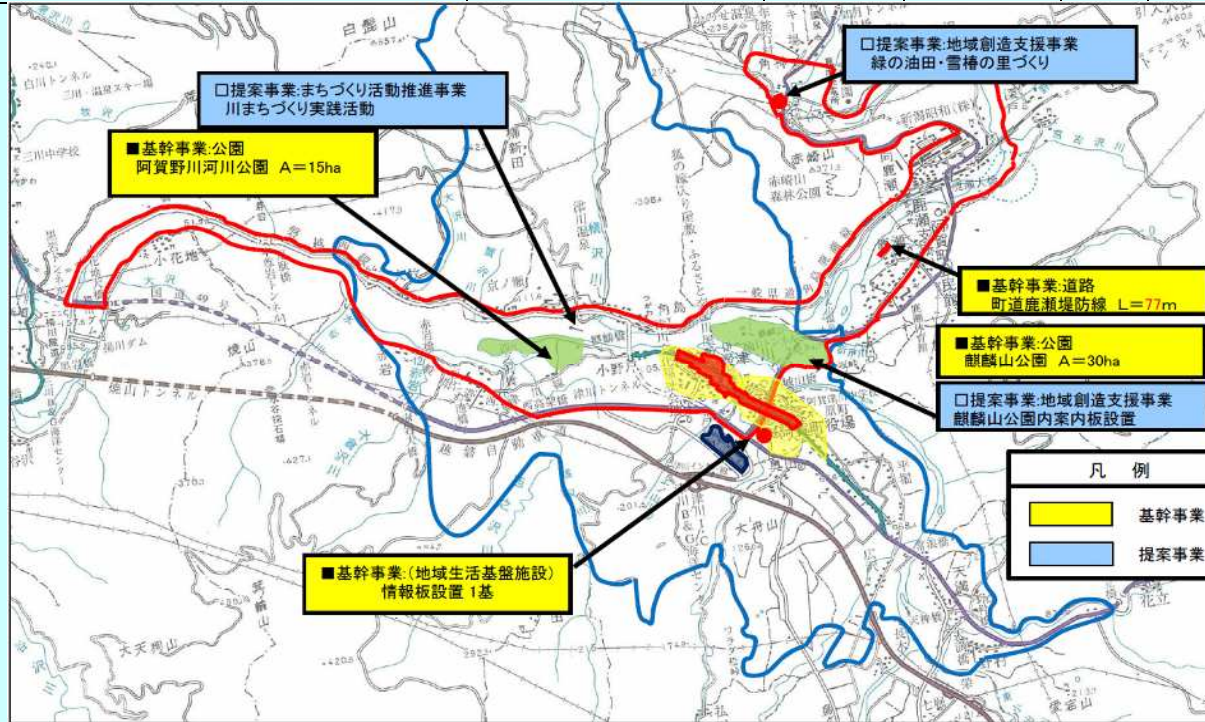
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 地域固有の自然環境を最大限に活用し、都市との交流を育みつつ、地域の自活力を高めるまちづくり。 目標1: 日本有数の大河「阿賀野川」や町のシンボルである「麒麟山」などの自然観光資源周辺での整備を行い、それらを活用した交流や誘客施策の推進により経済力のあるまちづくりを推進する。 目標2: 地域固有の資源である「雪樺」の活用を図り、自然と調和した地域産業の進行を推進する。	川を活用したレクリエーション交流人口	単位: 人/年 5,800	H24 7,300	718 H30
	地区内の観光入込客数	単位: 人/年 179,835	H24 180,000	129,043 H30



■公園 阿賀野川河川公園の整備 (多目的広場イメージ)



■公園 阿賀野川河川公園の整備 (阿賀町津川艇庫の増改築)



■地域生活基幹施設 情報版設置



■道路 町道鹿瀬堤防線整備 (遊歩道利用状況)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 町道を整備したことにより、行き止まりが解消され生活環境向上に貢献した。また、既存遊歩道へ町道からの乗入道を整備できたことから、より活用が期待できる。 阿賀野川沿いの公園及び施設を整備したことにより、従前に行われていたレガッタ等川を利用したスポーツはもちろんのこと、レクリエーション利用性が向上した。 観光看板を整備したことにより、国道及び高速道路を利用した観光客を町内誘客に結びつけることができた。 地域固有の資源(地域原産の雪樺オイル)を活用した地域産業の活性化に向けての地域の動きにつながった。 阿賀野川を利用した観光業を営む企業が撤退したことにより、利用者数向上を短期間で達成することが難しくなった。今後は、新しい利活用を検討する必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 公園の利活用方法を町外へ情報発信し、広域的な誘客を実施する。 観光看板を整備したことにより、国道及び高速道路を利用した観光客を町内誘客に結びつけることができた。 阿賀野川を利用した観光業を営む企業が撤退したことにより、利用者数向上を短期間で達成することが難しくなったことから、早急に事業再開企業を誘致する。